

みんなのお気に入り写真展
～伝えよう私の思い～
教師用ガイドブック

情報機器として手軽に扱えるデジタルカメラ。デジカメの画像も立派な情報です。世の中に二つとない自分だけの作品です。この画像に自分の思いを加えてみんなに伝える、本実践では情報活用の初歩として、どの学年でも活用できるものとして考えたのがこの「みんなのお気に入り写真展」です。

はじめに

・創造力・表現力の育成

デジタルカメラの操作に重点をおくのではなく、一枚の画像から湧き出てくる子どもたちの創造力、表現力を伸ばして行ってください。操作に関しては、基本的なこと（電源の入れ方、消し方、保存の仕方）にとどめ、あとの機能は子どもたちの要求に従い指導するか、子どもたちに任せましょう。

・五感を用いた体験の重視

五感を用いた体験をふだんから行いましょう。たとえば、身のまわりのものに対し、視線をかえて観察させたり、においをかがせたり、大いに触らせ、耳に手をあてしばらく聞かせたり、時には味見をしたりするなどの活動をしましょう。低学年のうちからこのような活動になれていると高学年になると自然に物事の見方が多様になってきます。そうして、本実践を六年間続けて行ってみるとその成長ぶりがわかり、貴重な成長日記になるかもしれません。

各ステップにおける留意点

STEP 1 身のまわりのお気に入りをデジカメでとろう（1時間）

ふだんからいいなと思うところ（ものなど）を撮影に行こう！！

- ・本実践を行う前より、それとなく自分の「お気に入り」を探させておくと活動がスムーズに行われます。本実践を行う学年の実態に応じて校外での活動範囲を決定しましょう。
- ・グループで行動させることによって、1人ではなかなか決められないことをグループのみんなに相談することで解消されたり、またデジカメ操作のわからないところも聞きあいできます。

STEP 2 たった一枚の写真からみんなに伝えたい思いを考えよう（1時間）

お気に入り写真展出展作品を完成させよう！！

- ・「ここが好きだ」というところをまず考えさせましょう。そのあと、こういうふうに見てほしいとか撮るのに苦労した点、さらには詩や短歌・俳句などのかかせるのもいいです。
- ・この考えるときに、どうしても考えつけない子に関しては、グループ内で助言をもらうように

する体制をとっておけばいいでしょう。

・この表現する部分では、五感を用いた体験が活かされている表現があった場合、しっかりとほめてあげます。そうすると今後の写真のとり方、表現の仕方により影響を与えます。

STEP 3 写真展を開こう（1時間）

みんなの写真やそのコメントをみて感想や意見交換をしよう！！

・多くの人の作品を見て、ワークシート「コメントカード」をたくさんの人に書いてあげるように言葉かけをしましょう。そうすることで、他の人のいいところがわかり、次の自分の活動へとつながります。

・できるかぎり多くの人に作品を見てもらう機会をつくり、評価してもらいましょう。クラス内だけにとどまらず、校内に公開したり、授業参観でも扱ってみてもよいでしょう。

・本授業の終わりには必ずワークシート「ふりかえりシート」を活用して学習のふりかえりをさせましょう。そうすることで次への学習につながるものになります。

発展編

・本実践を交流している学校とともに行い、デジカメ画像をWEB化し、お互いホームページとして公開します。こどもたちはさらに多くの作品に触れ、また比較することによってお互いの地域の違いやよさがわかり、交流が深まるでしょう。

・図工とリンクして、「お気に入り」を図画で表現してみましょう。